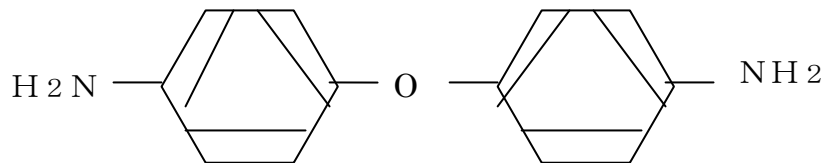


4, 4 ‘-ジアミノジフェニルエーテルの二次評価値について



(1) 関係機関の許容濃度等

- ①日本産業衛生学会の許容濃度：なし
- ②ACGIHのTLV：なし
- ③米国のREL：なし
- ④ドイツのMAK：なし
- ⑤英国のWEL：なし

(2) 一般環境に関する濃度基準：なし

(3) 発がん性以外の毒性試験で得られた無毒性量 (NOAEL)

反復投与毒性のNOAEL：300mg/kg食餌 (ラット経口、90日)

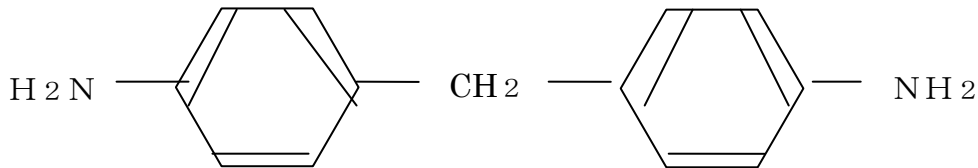
→ 換算 15mg/kg体重/day

(4) 構造的に類似した化学物質の許容濃度など

- ①ジフェニルエーテル：ACGIHのTLV 1ppm
(上部気道及び眼刺激、吐き気・悪心)
- ②4, 4 ‘-ジフェニルメタンジアミン：ACGIHのTLV 0.1ppm
(肝損傷)

二次評価値（第4回検討会の結論）

- 4, 4'-ジフェニルメタンジアミン (No.41) と比べると、中央が-CH₂- (メチレン基) ではなく O (酸素) なので、肝毒性は弱い、アミンとしての毒性はほぼ同じ。
- アミノ基があるので、ジフェニルエーテルより毒性は強いと予想される。
- ジフェニルエーテルの TLV が 1ppm、4, 4'-ジフェニルメタンジアミンの TLV が 0.1ppm であり、発がん性を考慮し、4, 4'-ジフェニルメタンジアミンの TLV と同じ 0.1ppm (0.82mg/m³) を二次評価値とする。



事務局からの提案

- 4, 4'-ジフェニルメタンジアミン (No.41) の二次評価値として、ACGIHの TLVではなく、日本産業衛生学会の許容濃度 (0.4mg/m³=0.05ppm) を採用した。
- No.14 の二次評価値を No.41 の二次評価値と合わせると、厳しくなりすぎるおそれがある。
- このため、ジフェニルエーテルの TLV (1ppm) の 1/10 の 0.1ppm (0.82mg/m³) を二次評価値とする。
(数値は第4回のままとし、その理由を変更する。)

